

実証経済学から ジェンダーを語る

2023年ノーベル経済学賞は、長年にわたる女性の就業や賃金の動きを明らかにした功績により、ハーバード大学のゴールディン教授が受賞しました。本講演では、ゴールディン教授の研究の意義についてお話しし、思い込みや社会規範がジェンダー格差にもたらす影響をエビデンスで説明します。実証経済学が明らかにしてきたジェンダーにまつわる研究の成果を共有し、日本のジェンダー格差の問題を考えてみましょう。

※ ミクロ経済学は、個人の意思決定や行動を科学的に探究する学問です。

実証経済学は個人の意思決定にまわる理論モデルの確からしさを実際のデータを用いて検証します。

講師 牧野 百恵 氏

[Profile]

独立行政法人日本貿易振興機構 アジア経済研究所
開発研究センター主任研究員

博士（2011年ワシントン大学）。専門は開発ミクロ経済学。
近著に『ジェンダー格差－実証経済学は何を語るか－』（中央公論新社、2023年）。2024年 第三回開発経済学会不破賞を受賞。

途上国女性のエンパワメント、ジェンダー格差解消を目指した実証分析に関心を持ち、主に南アジアを対象に研究。
経済学者としてジェンダーの視点からのコメントが様々なメディアで取り上げられている。

※本セミナーは『学問とジェンダー』の講義の一環ですが、この日のみ公開します。（要事前申込）
広島大学の新任教員研修プログラムに該当します。

開催日

2024年11月5日（火）

10:30～12:00

会場

広島大学 東広島キャンパス
総合科学部 K103講義室

対象

広島大学の学生・教職員
一般の方

ハイブリット開催

対面（定員60人）

+

LIVE配信 (Microsoft Teams)

申し込み締切

2024年10月31日（木）

お申し込みは

こちらから



共催：広島大学男女共同参画推進室

広島大学ダイバーシティ＆インクルージョン推進機構ダイバーシティ研究センター

【申込・問合せ先】広島大学男女共同参画推進室 担当：田中

Tel/Fax：082-424-4355 E-mail：syokuin-sen@office.hiroshima-u.ac.jp

HP：https://www.hiroshima-u.ac.jp/gender/news/85391